

歴史古街道団 20 周年 特別講演会

講演テーマ 目からウロコの日本史

あなたが学校で学んだ歴史はもう古い

講演者：河合敦氏

2024年8月31日(土) 14:00~16:00

(受付開始 13:30)

参加費：団員 700 円 一般 1,000 円
(高校生以下無料)

会場：多摩市永山公民館 5 階「ベルブホール」
東京都多摩市永山一丁目 5 番地
「京王永山駅」「小田急永山駅」から徒歩 3 分

定員：150 名

○受付方法 ☆団員は申込不要 (当日受付/先着順)

☆一般の方は事前申込制 (先着 50 名)

8 月 1 日から歴史古街道団のホームページで申込受付
を開始します。 <https://www.rekkodan.com/>



多摩市
永山公民館



【講演内容】おかし学校で学んだ歴史は、研究の進展によって近年大きく変化しています。

たとえば、日本最古の貨幣は和同開珎ではありませんし、教科書からは源頼朝や足利尊氏の肖像画は別人だとして消えてしまっています。古代史の英雄、聖徳太子も脇役扱いになり、戦国時代の始まりも応仁の乱ではなくなっています。織田信長も天下統一を目指していませんし、江戸幕府が鎖国をしていたというのも正しくありません。そんな新しい日本史の新常識について詳しくお話ししようと思います。

<講演者紹介> 河合敦氏 昭和 40 年 (1965) 東京町田市生まれ。小学生の時、裏庭から縄文土器らしいものを発見し、歴史に興味を覚える。青山学院大学文学部史学科に進み、古美術研究会に所属。平成元年 (1989) 東京都入都。町田養護学校 (現・都立町田の丘学園) で勤務の傍ら「多摩・歴史街道遺跡研究会」(発起人・事務局長/宮田太郎) でも多摩丘陵の歴史調査に参加。新人物往来社の第 17 回郷土史研究賞優秀賞を受賞。高校教師 27 年の経験を生かし、講演会、執筆活動、テレビで日本史を解説。NHK 時代劇の古文書考証、時代考証。現在、多摩大学客員教授。早稲田大学非常勤講師。

私と河合さんの出会いは、1989 年 (平成元年) の町田市「成瀬城」の市民発掘でした。その後、地域史研究の有志が集り結成された「多摩・歴史街道遺跡研究会」で多摩丘陵の小野路や小山田の城郭調査、野津田公園内の鎌倉街道遺跡の試掘調査などで一緒できた思い出があります。河合さんは町田市のご出身ですので、広い歴史に地域史を少し混ぜてのお話を聴けるかと思っています。この機会に皆様どうぞ貴重なお話を聴きにいらして下さい。

(歴史古街道団 団長・宮田太郎)



歴史古街道団

代表：宮田太郎 TEL 090-7002-3431

本部：東京都多摩市 (HP) <https://www.rekkodan.com/>

